

青少年育成事業委員会

委員長名：兵藤 忠洋

副委員長名：久坂 誠治

委員名：伊東 孝太郎、林 潤、日置 英二、兵藤 士郎、松尾 崇、柳澤 大輔、
吉田 哲也、渡邊 智治

1) 事業報告

(I) 家庭教育を見直す事業の開催

- (a) 内容：食を通じ家庭教育を見直す事業の開催
- (b) 時期：2008年4月13日 大豆栽培期間6月～10月
- (c) 開催場所：鎌倉女子大学 岩瀬キャンパス 松本講堂
- (d) 対象：正会員30名 一般287名 mixi 登録者32名

(II) 家庭教育の成果を実践する事業の開催

- (a) 内容：家庭での食育・徳育の成果を実践するための事業
- (b) 時期：2008年8月9日
- (c) 開催場所：玉縄学習センター 調理実習室・第二集会室
- (d) 対象：正会員24名、一般34名

(III) 家庭での食育・徳育の成果を検証する事業の開催

- (a) 内容：(I) (II) の成果を検証する事業
- (b) 時期：2008年11月20日
- (c) 開催場所：鎌倉生涯学習センター 第5集会室
- (d) 対象：正会員16名、一般3名

(IV) 青少年育成の為に近隣地域と連携する事業の開催

- (a) 内容：3LOM合同例会の開催
- (b) 時期：2008年6月12日
- (c) 開催場所：藤沢産業センター
- (d) 対象：正会員26名、(社) 逗子葉山青年会議所11名
(社) 藤沢青年会議所43名

(V) 鎌倉てらこやとの関係を検証する事業の開催

- (a) 内容：てらこやとのかかわり方の検証及び報告

(b) 時期：2008年11月20日

(c) 開催場所：鎌倉生涯学習センター 第5集会室

(d) 対象：正会員16名

2) 感想

現在わが国ではアレルギーや肥満などの肉体面、キレたり引きこもりなどの精神面に問題を抱える子供達の現状が多く見られます。当委員会ではこの子供達の深刻な状況の一因がかつて家庭の中で自然と行われてきた教育が薄れてきてしまった事にあるのではないかと考え、特に食育に焦点を当て家庭教育を再認識する事業に取り組みました。

まず4月例会として、大人が食のありがたさや大切さを見直し、それを家庭教育に活かせるよう料理研究家の辰巳芳子氏をお招きし講演会を開催しました。この講演会で辰巳氏は、人が生きていく為に不可欠な食を大切にしなければならない事をご自身の経験を基にお話され親の意識改革を強く訴えました。また、この講演会で触れた大豆栽培は家庭で親が子供に食べ物の大切さを教えるよいツールとすることができました。その後6月例会では近隣地域で青少年の課題を共有するために3LOM合同例会を開催し、地域間の連携を強化しました。8月には家庭での食育の成果を実践する場として、親子で完全自給食の調理実習をし、おいしく安全な食事を食べる大切さを親子が触れ合いながら楽しく学びました。これらの事業を通じて、参加者にとって食育は道徳観や倫理観など人々の心を豊かにする事に通じる大切なものであると見直すきっかけとなり、その食育を家庭できちん行う事で子供達に物や人、地域や環境などを大切に思う気持ちを持ってもらうことができました。

一年の委員会活動を振り返ると、スタート当初は思いどおりにうまくいかない事も多かったのですが、委員会メンバーの協力に支えられたお陰で数々の苦難を乗り越え最終的には優秀委員会賞を頂く事ができました。

最後になりますが、初委員長の私を支えてくれた久坂副委員長をはじめとする委員会メンバーの皆様、常に的確なアドバイスをくださった中谷副理事長、この貴重な機会を与えてくださった藤井理事長をはじめとする正副の皆様へ感謝を申し上げます。1年間有難うございました。